

県下の交通事故

(平成10年1月20日現在)

年別	区分	発生件数	死者	傷害
平成9年		248件	5人	366人
平成10年		234件	3人	297人
比較		-14件	-2人	-69人



◇ 第121号 ◇  
 発行所  
 〒400 甲府市丸の内一丁目9-11  
 県民会館2階  
 財団法人 山梨県交通安全協会  
 TEL 甲府 (0552) 32-4682  
 (0552) 37-7827

迎春



初春の富士 向山良彦氏撮影

新年明けましておめでとうございませう。県民の皆様には、ご家族ともども輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様には、安全で快適な車社会の実現をめざす(財)山梨県交通安全協会の行う交通安全活動について、深いご理解と多大なご尽力を賜り心から厚くお礼申し上げます。



(財)山梨県交通安全協会会長 志村 哲良

安協活動に理解と協力を

とりが交通社会の一員として、自分の安全は自分で守るという意識と、他人に対する温かい思いやりを常に失わず、交通ルールとマナーを確実に実践することが、何よりも大切であると考えています。

当協会では、県警等関係機関、団体と一層連携を深め、各交通安全運動をはじめ、テレビ、ラジオ、新聞等マスメディアを活用しての広報啓発活動を行い県

さて、昨年の県内の交通事故は、県警察をはじめ関係機関、団体及び地域住民が一体となり、死亡事故二ケタ台確保を目標に各種交通安全活動を強力に推進してまいりましたが、残念ながらその目標を達成できませんでした。

運転免許取得者や車両所有者等が増加し車社会は益々進展する中であって、交通事故を防止するためには、県民一人ひとりが

かがやかしい平成十年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

県民の皆様におかれましては、平素から交通社会の一員として、常に「思いやりや譲り合い」に心がけ、交通ルールの遵守と交通マナーを守っておられることと心から感謝申し上げます。

さて、最近の交通情勢は、運転免許保有者や車両の増加、日常生活における車



山梨県警察本部長 中林 英二

安全で快適な車社会の実現

の当面の交通死亡事故抑止目標である二桁台を二年連続上回るという厳しい状況となりました。

交通死亡事故の特徴をみますと、  
 ・若者と高齢者の死者が五十一人と多く全体の約四六%を占めたこと  
 ・最高速度、信号無視、酒酔い、追越し等の悪質違反に起因するものが約四〇%を占めたこと

利用の定着などにより、交通量が飛躍的に増大した結果、交通事故の増加や交通渋滞の現出など、まさに「くるま社会」における歪みとも言えるべき様々な問題が生じてきております。

このような情勢の中で、昨年の本県の交通事故による死者は百十人で、前年に比べ一人減少したものの、平成八年からスタートした第六次山梨県交通安全計画

・シートベルトの着用率が極めて低かったこと  
 ・などが挙げられます。

県警察といたしましては、本年も、「交通死亡事故減少対策の推進」に向けたさまざまな対策を実施して、安全で快適な郷土「山梨」の実現を目指す努力をして参りたいと思っておりますので、皆様方のなごい層のご協力を心からお願ひ申し上げます。



# 優秀安協に市川

## 優良安協は葦崎、塩山

### 管区内表彰一団体、一事業所一一人 交通安全賞緑十字銅章一一〇人

一月二十日、山梨県立文学館で、県警察本部と県交通安全協会共催の平成十年交通安全推進県民大会が開催されました。この大会は、年頭にあたり交通安全に係る関係機関、団体等の全県規模の結束を図るため、今回を第三回として、毎年一月に開催しているもので管区・県表彰等もこの大会で行われました。

## 交通安全宣言を採択

大会は、天野建知事、上田廣一甲府地方検察庁検事正等多数のご来賓のご臨席のもと、受賞者をはじめ県下の交通機関、団体等約八百人が出席し厳正のなか盛大にとり行われました。

大会では、交通事故の犠牲者に対して黙祷を捧げたのち、中林英二県警察本部長と山下道男県交通安全協会副会長があいさつを行い、続いて一月二十八日都内日比谷公会堂で開かれる交通安全国民運動中央大会で交通安全



平成10年交通安全推進県民大会

#### 優良運転者



大久保光雄氏

#### 交通安全功労者



松田良一氏

#### 金章

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

#### 交通安全功労者



相澤誠治氏

#### 交通安全功労者



日向正巳氏

#### 銀章

#### 優良運転者



島崎昇一氏

#### 優良運転者



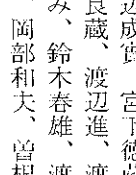
井手恒蔵氏

#### 優良運転者



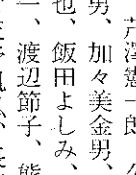
宮下吉男氏

#### 優良運転者



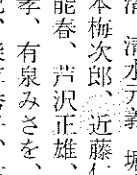
雄、岡部和夫、曾根徳之助

#### 優良運転者



美、天野凱弘、長田尚、渡辺成實、宮下徳蔵、倉沢良蔵、渡辺進、渡辺ひろみ、鈴木春雄、渡邊孝雄、岡部和夫、曾根徳之助

#### 優良運転者



坂清、清水元義、堀内武、深本梅次郎、近藤仁、佐野能春、芦沢正雄、保坂雅孝、有泉みさを、飯田清記、深草秀子、占屋信昭、芦澤憲一郎、久保田武男、加々美金男、大村勝也、飯田よしみ、菊島恵一、渡辺節子、熊井久美、天野凱弘、長田尚、渡辺成實、宮下徳蔵、倉沢良蔵、渡辺進、渡辺ひろみ、鈴木春雄、渡邊孝雄、岡部和夫、曾根徳之助

一名減少したが、「二ヶ台は達成できなかった」としたのち今年の県内交通情勢の展望と交通安全活動の重点を解説し、交通事故防止を訴えました。

こうした状況を勘案し、交通事故の抑止を図るために、松田良一県安協副会長（小笠原安協会長）が「交通安全宣言（案）」を朗読し、満場一致で採択されました。

また、昨秋の県中学生交通安全弁論大会の優勝者の甲府東中二年輪谷亜紀さんと準優勝の河口湖北中二年倉澤あゆみさんが、迫力のある懸命の弁論発表を行い、参加者に深い感動を与えました。

会場は熱気にあふれ、大会宣言で重点目標とされた四項目を強力に推進しようとする気運がみなぎり、今年の交通安全活動の成果が期待されます。

管区・県表彰の受賞者（敬称略）は次のとおりです。

受賞者は、長年交通事故防止に功績のあった交通安全功労者・団体や交通安全協会と同役員、永年無事故・無違反で他の模範とされる優良運転者、多岐にわたる交通安全活動の成果が期待されます。

管区・県表彰の受賞者（敬称略）は次のとおりです。

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

### 平成9年 前年より一名減少

#### 交通安全死者は百十人

平成九年中の県内の交通事故発生状況は、

○発生件数、四八四件

○死者数、一一〇人

○傷者数、八、六四九人

で、発生件数と傷者は、前年比六百五十八件、千六十八人とそれぞれ増加しており、幸い死者数は

前年より、一人減少しましたが、二ヶ台に抑えることはできませんでした。

死者は、相変らず若者（一六～二四歳）と高齢者（六五歳以上）に多く、合わせて五十一人で、全死者の約四六%を占めており、また四輪運転中の

死者が四十三人で約三九%にも達しています。死亡事故のシートベルト着用率が二八・八%と低く、非着用者四十二人のうち十八人（四二・九%）は、着用してれば助かったと言われます。

県民一人ひとりが、生命の尊厳を知り、命綱であるシートベルトを着け万が一の場合、自分の身を守るようにしましょう。

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

交通安全賞緑十字  
金・銀章に輝く人々

1月20日  
全国表彰

### 交通安全宣言

平成九年中の交通事故による山梨県内の死者数は、県民が努力した結果百十人となり、前年より一名減少することができたが、目標とした「桁の減少」は達成できなかった。

また、発生件数及び傷者数は増加の途をたっており、依然として厳しい状況が続いている。

ここに、平成十年交通安全推進県民大会に当たり、生命の尊厳と交通事故の重大性を深く認識し、安全で快適な交通社会を確立するため、関係機関・団体をはじめ道路交通の場に参加する全ての個人と協力し、県内の地域、家庭、学校、職場等において、次の諸対策を強力に推進することを誓う。

一、運転者、特に高齢者等に対する交通安全教育の充実

二、シートベルト、ヘルメットの着用促進

三、反対側の着用促進

四、反対側の着用促進

平成十年一月二十日

交通安全推進県民大会

### 謹賀新年

平成十年中の交通事故が一件でも減少することを願って、お一人の努力をいたしてまいります。今年もよろしくお願いたします。

財団法人 山梨県交通安全協会

会長 志村 哲良

副会長 山下 道明

専務理事 土橋 七六

常務理事 秋山 登

事務局長 大沢 正和

松田 良一

八木 吉治

植野 友規

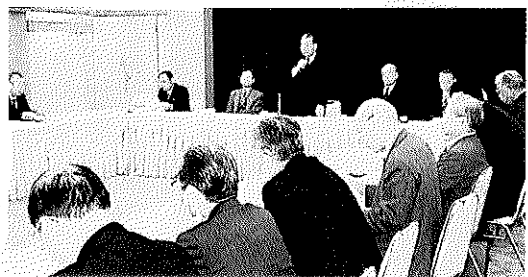
他理事・評議員一同

林学、武田十四春、深沢博、宮本康雄、松永美文、小沢猛、小林武男、清水准一、名取洋行、小池正夫、河西求、奥石良三、野山泰男、中村、森本寿美子、中島実、清水秀敏、坂本基可、進藤正武、細田宏之、藤森博文、進藤柏男、小野隆造、深澤文昭、大木和子、樋口幸夫、斎藤武夫、黒田三津男、近藤仁、佐野能春、望月美智子、長坂公臣、望月統、葉袋富昭、深沢淳、小池武幸、玉木学、赤池信秋、岡村勝美、市川正勝、河野東洋男、大森敏、茂原景尾、水地寛、茂手木毅、戸井田光治、五味浩、金丸等、萩原正夫、古屋忠男、加藤隆雄、上野敦美、加藤昇、勝又

# 交通安全は安協の手で

## 県安協合同役員会

県交通安全協会は、一月十二日、甲府市内のホテルで、本年初の県安協合同役員会を開催し、平



県安協合同役員会

成十年の交通安全活動の進め方や協組のあり方等について協議しました。

つしました。統一の議事では、補正予算案や改正道交法への対応等が審議され、活発な意見交換ののち各議案は可決されました。

特に関心した点として、改正道交法で、「県道路使用適正化センター」を新たに交通安全の業務を加え、名称も「山梨県交通安全活動推進センター」と変更し、組織が強化されることについて議論が集中しました。

また、十月二日に施行される改正道交法で、軽微な違反者が一定の社会参加活動や実車講習を受けると行政処分が免除されるという制度についても検討しました。

夜間における歩行者等の被害事故防止と夜光反射材の着用促進を図るため、「山梨学院大学陸上部」の協力を得て、部員一〇〇名の方を夜光反射材の普及推進員として委嘱を行い、夜光反射タスキを贈呈しました。夜光反射タスキ着用によるト

# わが安協の活躍

甲府安協会長 秋山 登



以上、主な活動事例を紹介させて頂きました。が、悲惨な交通事故を一件でも減らすため今後とも地域における各種の交通安全防止活動に一生懸命に取り組みます。皆様方の協力をよろしくお願いいたします。

わが甲府交通安全協会では、平成九年中管内における交通安全、とりわけ悲惨な交通事故死事故防止のため、各種の交通安全活動を行ったので事例を紹介いたします。

一、シートベルト着用啓発の推進  
シートベルト非着用ドライバーに着用を促す啓発活動の推進のため、各支部に配布を行い、交通安全運動期間中やシートベルト着用推進日に街頭指導の場等でシートベルト着用を徹底してドライバーに呼びかけています。

二、夜光反射材の着用促進  
しかし、着いた頃にはもう虫の息で、しばらくの間は、後悔でいっぱいになるのではないのでしょうか。

この様な交通事故でなくなる人は、年々増えていく一方です。山梨県は車の所有率が高く、ドライバーも多いため、死亡事故の割合も高くなっています。本日の意味に気づくことができていない。そして、うわべだけの注意はすぐに失われ、また交通事故という悲劇をくり返すのです。

# 県安協が交通安全の中核に

## 4月から道交法一部改正

● 従前から県安協は、山梨県公安委員会から委託、指名を受けて、道路の適正使用状況調査やパーキングチケット発給設備の維持管理等の業務を行う「山梨県道路使用適正化センター（県適正化センター）」を運営しています。

● 今回の道交法改正で、新規に重要業務が加わりますが、その他は従来から安協が事実的業務として行ってきた業務を法律で規定されたもので、安協活動が交通安全の中核としての社会的認められたいと思います。

● 安協で行う交通安全と円滑を図るための民間組織活動の支援業務は、交通安全母の会、一般企業等の民間団体が自主的に行う交通安全に関する広報啓発活動に、資料や資器材等の提供、後援、協賛等を行う活動です。

● 県安協では充足当時から、交通安全のためチラシ、ピラ等の配布や各種の資料、資器材の提供及び各種事業への後援等民間団体が行う交通安全活動を支援してきました。が、今回正式に法律で規定されることを契機としてこの種業務を適切に推進します。

● 県適正化センターで従来から行ってきた業務に加え、新たに法律で「交通安全と円滑を図るための民間の組織活動の支援」等の業務が加わり、名称も「山梨県交通安全活動推進センター」と変更し、その業務すべてを県安協が県公安委員会から委託される予定です。

● 新規に重要業務が加わりますが、その他は従来から安協が事実的業務として行ってきた業務を法律で規定されたもので、安協活動が交通安全の中核としての社会的認められたいと思います。

# イエローカード？何これ

甲府市立東中二年 幡谷亜紀



「私には関係のない話だ」「私がそんな事故に合うはずがない」

「私には関係のない話だ」「私がそんな事故に合うはずがない」

「私には関係のない話だ」「私がそんな事故に合うはずがない」

「は？イエローカード？何これ」  
新聞に目を通して目撃した。それは、「マナーを守らぬ自転車に、イエローカード」という、大きな文字で。右側通行は三ヶ月以下の後、または五万円以下の罰金だなんてひどすぎる。信じられない、この記事に対して思いました。しかし、ここまでで私達のは、私達の交通マナーの悪さなのですか。二人乗りや一時停止無視、信号無視など、一歩間違えれば大事故にもなりかねない、死の危険さえあると、分かっているながらも直さないでいた、私達が原因なのですか。

「私には関係のない話だ」「私がそんな事故に合うはずがない」

「私には関係のない話だ」「私がそんな事故に合うはずがない」

「私には関係のない話だ」「私がそんな事故に合うはずがない」

「私には関係のない話だ」「私がそんな事故に合うはずがない」

「私には関係のない話だ」「私がそんな事故に合うはずがない」

「私には関係のない話だ」「私がそんな事故に合うはずがない」

「私には関係のない話だ」「私がそんな事故に合うはずがない」



# 平成10年 交通安全年間スローガン

(最優秀作・内閣総理大臣賞)

- ★運転者に対するもの  
**運転中 紅葉マークに 思いやり**
- ★歩行者・自転車利用者に対するもの  
**反射材 光るあなたの 心がけ**
- ★こども部門  
**うんてんしゅさん ちいさなぼくが みえますか?**

## 地区だより

年同期比三十九件減、死者七人(四人減)、傷者六百三十人(五十三人減)でした。  
安協役員は、三百七十人出動しました。



身延町下山のテレホンパーキング

**テレホンパーキング 南部安協**  
「モシモシは、車に乗る前、降りたあと!!」これは昨年のドライバー向け交通安全スローガンです。  
携帯電話は「運転中は使わない、運転する前に電源を切っておく」ことが原則です。皆さんは、この原則を守っていますか。  
携帯電話使用中の交通



武田神社で交通安全祈願

### 交通安全を祈願 県交通安全協会

県交通安全協会(志村哲良会長)は、一月十二日、武田神社で、今年一年の交通安全を祈願しました。  
当日は、雪の降りしきるなかを、県警交通部の今福参事官、県安協の山下副会長をはじめ、県安協役員、交通機動隊員等約五十名が参列しました。  
拜殿でお祓いを受けた後、山下副会長と今福参事官が玉串を奉奠して、参列者一同平成十年の交通安全に取り組み決意を新たに、特に死者数を二桁台に抑えこむことを誓い、祈願しました。  
また、日ごろ交通警察活動に使用しているパトカー等もお祓いを受けて無事故を祈りま

### 総理による 激励懇談会に出席

南甲府安協婦人部会長 岡 恵美子



総理に反射材の帽子を贈る

私は、昨年九月二十五日、秋の交通安全運動の期間中に、交通関係ボランティアに対する橋本総理大臣による激励懇談会に出席する機会に恵まれました。  
当日、警察総合庁舎で事前説明を受けましたが職員の皆様も初めてという事で、緊張そのものでした。  
私は「日ごろ活動していることを話せば良い」と心を決めて、生れて初めて首相官邸に入った時には感激で胸がいっぱいになりました。  
懇談会には、都内及び近県から選ばれた十六人が出席し、日ごろの苦勞話しや体験談などを話し合いました。  
私は、出席者のトップ

を切つて、反射材の着用促進について発言し、そして反射材のついた赤い帽子を総理に贈らせていただきました。総理は「こやかなスマイルで「ジョギングの時にでも使わせてもらいますよ」と言いながら握手をして下さり、私は一生の宝物をいただいたような気分になりました。  
このような晴れがましい席に出席することができたのも、一緒に活動していた日ごろの南甲府安協の皆様のおかげと感謝しながら「これから交通安全防止に一層の努力を」と、決意を胸に、さわやかな気分で帰甲の途につきました。

### 交通安全を祈願 県下各安協

県下各交通安全協会、自治体、各交通関係団体等の関係者とともに、交通安全を祈願を行いました。

安協名	月日	神社名等	参加者
甲府	一九	武田神社	警察、安協、安管、母の会 約五〇名
南甲府	一〇	住吉神社	警察、安協、安管、母の会 約二〇名
小笠原	一〇	笠屋神社	警察、町村、安協、安管、母の会 約一〇〇名
韮崎	一〇	若宮神社	警察、市町村、高校、安協、安管 約七〇名
長坂	一六	檀園寺	警察、市町村、安協、安管、母の会 約八〇名
鵜沢	一六	八幡神社	警察、安協、安管、母の会、地推協 約二〇名
南部	一六	久遠寺	警察、安協、安管、母の会 約八〇名
市川	一七	十五所神社	警察、市町村、安協、安管、母の会 約六〇名
石和	一八	浅間神社	警察、町村、安協、安管、地推協 約二〇名
日下部	一九	八幡神社	警察、安協、安管、母の会 約一〇〇名
塩山	二二	菅田神社	警察、安協 約八〇名
都留	二四	都留大神宮	警察、安協、安管、地推協 約一〇〇名
韮崎	二四	都留大神宮	警察、市町村、安協、安管、母の会、地推協 約一〇〇名
大月	二五	三魂神社	警察、市町村、安協、安管、母の会、整備委員会、地推協 約五〇名
上野原	二五	三倉神社	警察、町、安協、安管、母の会 約五〇名

### 安協ニュースを発行

市川安協

市川安協(八木吉治会長)は、十一月十一日付で「市川安協ニュース」第三号を二千部発行し、管内全域の自治会にお願いして全戸を回覧しました。

### 広報車で呼びかけ

小笠原安協婦人部

小笠原安協婦人部(河野西美佐子部会長)は、年末年始の交通事故防止県民運動の期間中に、役員六名が広報車で管内六町村全域を巡回し「シートベルトの着用」などを呼びかけました。  
また、ゲートボール場等では、高齢者に対し

### 婦人部の活動

交通遺児を激励

石和安協婦人部

石和安協婦人部(市川澄恵部会長)は、昨年十一月中に、支部ごとに各家庭を回り、交通遺児を励ますための募金を行いました。  
この募金は昭和六十年頃から毎年行っているものですが、今回は八十六万円の募金が寄せられました。  
年末に役員が、管内の交通遺児十七名の自宅を訪れ、遺児一人当たり三万円を贈るとともに、残りの全額を財団法人山梨みどりの奨学金と山日厚生文化事業団に寄付しました。

### 安協役員手帳の活用を

県安協から

山梨県交通安全協会は、平成九年度の事業の一つとして交通安全協会役員手帳一万部を作成、県下各地区交通安全協会の役員に配布しました。



役員手帳

役員の皆様には、  
● 日常の交通安全活動に従事する場合の注意事項  
● 幼児、児童、高齢者等に対する交通安全教育  
● 自転車の安全な乗り方教育  
等、手帳記載の内容を再確認していただき、日常の交通安全活動に有効に利用して下さるようお願いいたします。